

2-2-5-3 放水砲システム

※放水砲システムは物件毎に仕様が異なるため、非常電源の供給方式（系統）も物件毎に異なります。

停電時

| | | |
|--------|-----------|--|
| 発生する事象 | 停電直後 | <ul style="list-style-type: none"> ・消火ポンプの電源が遮断され、自動的に非常電源からの電源供給に切り替わります。運転中に停電し一旦電源供給が遮断されても、非常電源に切り替わると自動的に消火ポンプが起動・継続運転します。 ・消火ポンプの非常電源が、非常電源専用受電設備の場合は、停電直後から消火ポンプの起動ができなくなります。 ・消火ポンプの電源が非常電源に切り替わる際に、消火ポンプの電源断の表示および警報が発せられる場合があります。 ・非常電源が接続されていないジョッキープンプ（補助加圧ポンプ）は作動できなくなるため、配管内減圧により消火ポンプが起動する場合があります。◆ ・情報処理盤等のUPS（無停電電源装置）は、非常電源（自家発電設備等）からの電源供給が行われるまでの間電源供給を行います。 ・UPS（無停電電源装置）電源に切り替るとUPS本体よりアラーム音が発せられます。 ・中央操作盤内の制御用パソコン用UPSは、制御用パソコン用UPSの一次側電源が遮断された場合に制御用パソコンをシャットダウンさせる信号を送出し、自動的に制御用パソコンの電源をOFFします。 ・現地操作盤からの操作が不能となる場合があります。 ・中央操作盤のブザーが鳴動します。 |
| | 非常電源供給終了後 | <ul style="list-style-type: none"> ・消火ポンプの電源が完全に遮断されると消火ポンプが起動できなくなり、また消火ポンプの電源断の表示および警報が、火災受信機などに発せられる場合があります。 ・中央操作盤からの操作が不能となり、設備が機能を停止します。 |
| 必要な対応 | | <ul style="list-style-type: none"> ・非常電源供給終了後は、放水砲システムが機能しないため、人により火災を警戒する等の対応をしてください。 |

復電時

| | |
|--------|---|
| 発生する事象 | <ul style="list-style-type: none"> ・復電時には、自動的に中央操作盤、現地操作盤等に電源が入り、制御用パソコンの起動を行います。 ・電源復電時に中央操作盤のブザーが鳴動します。その後、正常監視状態に復旧すれば中央操作盤のブザーの鳴動は自動的に停止します。 ・中央操作盤CRT画面に「故障」のメッセージが表示される場合があります。 ・消火ポンプの電源供給が自動的に再開されます。 ・長時間におよぶ停電で配管内圧力が下がっている場合、復電により消火ポンプが起動する場合があります。◆ |
| 必要な対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・中央操作盤CRT画面に「故障」のメッセージが表示された場合は、中央操作盤『取消』スイッチを押下げ操作することにより、メッセージは消去されます。その他、行っていただく操作等はありません。*1 ・停電前と同様に表示などが正常状態であることを確認してください。 ・火災以外で消火ポンプが起動した場合は、ポンプ制御盤のポンプ停止押釦スイッチでポンプを停止してください。 ・自家発電設備を運転した場合の対応は、同設備の取扱説明書によってください。 |

*1：システムが正常に復帰していない（実際に故障している）場合は、『取消』スイッチを押下げ操作を行ってもメッセージは消去されません。

注意事項

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・放水砲システムは物件毎に仕様が異なり、非常電源の供給方式も物件毎に異なるため、上記の「事象」、「必要な対応」は代表的なものを示しております。詳細は各物件の取扱説明書を参照してください。 ・電源装置等の状態によっては、復電時に機器に故障または障害が発生する場合があります。 ・通常の監視状態において、頻繁に配管内の圧力が減少する（計画停電の時間より短い間隔で、ジョッキープンプが起動する）などの現象がある場合、◆の事象の発生する確率が高くなります。配管、バルブ等からの微少な漏れが考えられますので、修繕をおすすめします。 |
|--|